

第4回 野洲市総合計画審議会 会議結果の概要

日 時：平成23年5月26日（木）午後2時00分～午後4時00分
場 所：野洲市市民活動支援センター ホール
出席委員：20名（欠席委員9名）

1. 開会

2. 会議の成立確認

3. 審議事項

①総合計画見直し素案(第1章～第5章)修正案について

- * 第3回審議会の意見に基づき、素案を修正した。
- * 第2章「現状と課題」の項目「産業」と「環境」の順番を入れ替えた。計画全体について「(3) 産業」、「(4) 環境」という順にする。
- * 第4章の「めざすべき全体像」に豊かな自然と歴史の概念を追加した。
- * 第5章「まちづくりの基本方針」を削除した。それに伴い、第6章以降の章番号を繰り上げていく。
- * 「ゾーニング」や「コンパクト」という表現については、これらの言葉が意図するところを再度整理していきたい。

<主な意見等>

- * 財政的な裏づけのある、実現性の高い総合計画にするべきではないか。
→具体的な事業名は計画内に記載しないため、個々の事業に合わせて財政を考える必要はないと考えている。ただし、財政が厳しい状態にあることは念頭に置いて、事業の優先順位や緊急性は検討する必要がある。
- * どのような視点で見直しを進めていくのか。文章を簡潔にわかりやすくするというのはその通りだが、内容について方針を変える必要があるのか。
→6年前の計画策定時から社会・経済状況が変わっている。方向性としては大きく変わらないかもしれないが、社会背景の変化をふまえて見直していく。
- * 総合計画の中で個別計画の内容や効果を検証することはできない。しかし、いくつかの分野にわたる個別計画が多いため、その課題について認識を共有することは重要だろう。
- * 「道徳教育」という言葉が使われているが、「人権教育」という言葉の方が適切ではないか。
→用語については部会で精査する。
- * まちづくり基本条例から議会との対等な関係性に関する項目が削除されたが、総合計画には「すべての市民は対等である」といった文言を計画に盛り込むべきではないか。
→総合計画に盛り込むか否かは部会で議論する。
- * 商業の振興に関して、「経営の安定化や後継者の確保が課題」とあるが、それよりも新たな企業の創出などが重要なのではないか。
→項目として残すか否かを部会で議論する。併せて、商工という切り口からまちのにぎわいにつなげるか、まちのにぎわいをめざす中で商工を位置づけるか、どちらを主体とするかも検討していきたい。

4. 協議事項

①部会審議について

* 部会は4回程度の開催を想定している。事務局で基本施策の素案を作成する。第1回、第2回は改正素案について審議し、第3回は各部会に共通して影響する都市基盤、環境、行財政等の審議、第4回に取りまとめを予定している。

* 総合計画は幅広い分野にまたがり、相互に関係しているため、施策ごとに「関連項目」を示すようにした。

<主な意見等>

* 重複している記述(「少子高齢化に向けて～」など)が多く、分かりにくくなっているのではないかと。

②市民懇談会について

* 市民懇談会は6月18,19,25,26日にかけて、7学区に分けて開催する。2部構成とし、第1部では総合計画の内容や見直しの目的、市の概況等を説明する。第2部では、市や学区の魅力を出し合っていていただいて、それらの魅力をどのように守るか、まちづくりに活用していくかについて議論する。

* できる限り前向きな、プラス思考の意見が出やすい懇談会としたい。

<主な意見等>

* こうした懇談会を開くと、テーマに関係ない話が必ず出る。参加者には、予め懇談会の趣旨を十分に説明しておく必要がある。

* 意見を記入できるカードやシートを配布しておき、発言できなかった人の意見も回収する方法を検討すべきだろう。

* 学区の地図を用意し、魅力的な場所を選んでもらうなど、発言できない人も参加できるような配慮が必要なのではないかと。

* 参加者の層が限られないよう、若い人や女性に多く参加いただけるような工夫を考える必要がある。また、どのような人が参加していたかを把握しておくとい。

5. その他

* 駅前土地買取可否内部検討会議・市民懇談会の検討状況に関する報告。

* 第1回の部会は6月上中旬を想定している。日程は部会長、副部会長と相談しながら確定する。

* 第2回部会と第3回部会の間に関全体審議会の開催を予定している。また、部会での審議は8月前半までに目途を付け、8月後半からは審議会で計画全体の取りまとめを進めていきたい。

6. 閉会